



申3号 水戸地本「第7回定期大会」発言に基づく申し入れ(第3回)

4. 土浦運輸区での区報に対する水戸支社としての見解を明らかにすること。

【会社回答】

同様の事象が発生しないようにコンプライアンス等に関する教育を徹底していく考えである。

【組合の主張】

- 現場で行われたコンプライアンス説明会では『①あるべきチェック体制が機能しなかったこと』が語られなかった。説明会に参加した社員からは「問題点をすり替えている」「社員に責任転嫁している」と言った意見が多く出されている。現場においても、前回の交渉で明らかになった①～③の3点の原因を語るべきである！

〈前回の交渉で明らかになった原因と問題点〉

- ① あるべきチェック体制が機能しなかったこと
- ② 不適切な表現を含む内容が掲示されたこと
- ③ SNS に流出することによる影響の大きさに対して考えが至らなかったこと

【会社の主張】

- 土浦運輸区での説明会は、支社・現場管理者間で認識を一致させたうえで、職場での再発防止対策(コンプライアンス説明会)を行っている。
- 管理者については、チェックする管理者自らが問題意識を持たなければ、すり抜けてしまう事になる。それは、社員についても同様。だからこそ、問題意識を持てるように、双方の意識を高めていく事が重要である。
- 意識を高める場として、一般社員については「コンプライアンス説明会」、管理者については「個別教育」を行ってきた。
- まずは再発防止に向けた教育が重要と判断し、教育を行ってきた。今後のコンプライアンス説明会もあるのでやり方・周知方法含めて現場とコミュニケーションをとりながら検討していきたい。

5. 会社として把握しているこの1年間の不祥事について明らかにすること。また、それらに対する見解と対策を示すこと。

【会社回答】

就業規則に則り、適切に取り扱っているところである。引き続き、コンプライアンス全社員教育を実施していく考えである。

【組合の主張】

- 現場では何も語られず、噂のみが先行している。その結果、研修等に行く事に対して不安を抱いてしまう社員もいる。そもそも、支社として現場で起きている不祥事について把握をしているのか？
- 再発防止に向けて『発生してしまった事象と対策を周知していく事』で、社員の意識を高めていくことが重要であると考えている。しかし、今の会社の対応では隠蔽している事と何ら変わらない。

【会社の主張】

- 個人に関わる事象であるので、この場で明らかにすることはしない。現場へは、些細な事も含めて報告する事を伝えているので、発生する事象については把握している。不安の解消については、現場におけるコミュニケーションを通して不安解消に努めていく。
- 発生している事象からコンプライアンス説明会を行い、不安解消に努める。隠蔽している訳ではなく、個人に関わる事象となるので、支社として『言わない・周知しない』と判断している。

**発生した事象についての教育は当該職場のみでは意味がない！
事象に対して真摯に向き合い、あるべき正しい教育を求める！！**